

《実習科目 実習科目》

科目名	教育実習事前・事後指導 (幼小)				
担当者氏名	坂口 静子、笠川 武史、中村 哲也、藤田 敏朗				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 実習-2 豊かな人間性の醸成 ○ 実習-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 実習-4 発達の深い理解 ○ 実習-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

教育実習の実施計画に基づいて、以下の活動を行う。
 1. 事前指導①教育実習の目的理念、実習の心構え②実習校の実態把握と事務処理についての心得③幼児・児童・生徒の観察の仕方と理解のための方法④教材研究と教具の活用について⑤実習案の立て方と実習ノートの記録⑥実習校の訪問、見学、実習の準備
 2. 事後指導①実習体験の確認②自己評価と課題③実習記録のまとめ④求める教師像

《テキスト》

大学で準備する「教育実習の手引き」(幼)(小)

《参考図書》

各校種の学習指導(教育)要領、学習指導要領解説各教科編 各教科指導書 等

《授業の到達目標》

教育実習を円滑に進められるようにする。
 教育実習の経験を通して教員としての資質を高める。

《授業時間外学習》

実習に必要な、教科書や教材の準備、実習前の事前打ち合わせ等、主体的に実施すること。

《成績評価の方法》

実践課題、提出物 70%、学習態度 30%で評価する。

《備考(教員経験の有無)》

この教科は幼稚園、小学校教員の経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	教育実習の目的	事前指導：教育実習の目的理念、目的
2	実習の心構え	事前指導：実習の心構え(コンプライアンス)
3	実習の心構え	事前指導：授業・保育についての心得(授業・保育参観の観点、実習案の立て方、教材教具の扱い)
4	実習の心構え	事前指導：授業・保育についての心得(研究授業・保育、研究授業・保育反省会への望み方等)
5	実習記録	事前指導：実習の記録と指導の受け方(指導案の作成)
6	子ども理解	事前指導：子ども理解の方法と指導の実際(学校園の実情、生活指導の基本、学習態度の指導)
7	子ども理解	事前指導：子ども理解の方法と指導の実際(個人・小集団・学級集団の観察、指導と援助)
8	事務処理	事前指導：事務処理について
9	教材研究	事前指導：教材研究と教具の活用について(教科書、絵本、板書、パネル提示、遊具)
10	実習中の留意点	事前指導：実習中における留意事項(保険と危機管理)
11	実習の反省と課題	事後指導：学習指導の体験的理解に関する授業・保育の反省と課題
12	職業に対する意識の確認	事後指導：教員・職業に対する意識の確認、予期しない事態への対応
13	指導法・指導技術の見直し	事後指導：体験的理解を通じた指導法・指導技術の見直し
14	指導法・指導技術の見直し	事後指導：学習指導・教科外活動、生徒指導・相談援助の見直し
15	教職とその適正	事後指導：教職とその適性について